



2019年

7月

日本同盟キリスト教団 大井教会  
教会学校生徒用デボーションブック

※ 聖書は新改訳2017を使っています。

※ 日ごとの聖書箇所を選定は、

教会学校教案誌「成長」

「いのちのことは社 CS成長センター」に基づいています。

がつ あんしょうせいぐ  
7月の暗証聖句

ですから、だれでもキリストのうちにあ

るなら、その人は<sup>ひと</sup>新<sup>あた</sup>しく造<sup>つく</sup>られた者<sup>もの</sup>で

す。<sup>ふる</sup>古いものは<sup>す</sup>過ぎ<sup>さ</sup>去<sup>み</sup>って、見よ、すべ

てが<sup>あた</sup>新<sup>ら</sup>しくなりました。

Ⅱコリント5：17

## 1 (月)

7日のおはなしは・・・ステパノ

まことに、まことに、あなたがたに<sup>い</sup>言います。一粒<sup>ひとつぶ</sup>  
の麦<sup>むぎ</sup>は、地<sup>ち</sup>に<sup>お</sup>落ちて<sup>し</sup>死ななければ、一粒<sup>ひとつぶ</sup>のまま  
す。しかし、死<sup>し</sup>ぬなら、豊<sup>ゆた</sup>かな<sup>み</sup>実<sup>むす</sup>を結びます。

ヨハネ 12 : 24

## 2 (火)

ぎ  
義のために<sup>はくがい</sup>迫害されている者は<sup>もの</sup>幸<sup>さいわ</sup>いで  
す。<sup>てん</sup>天の御国はその<sup>ひと</sup>人たちのものだから  
です。

マタイ 5 : 10

### 3 (水)

しかし、わたしはあなたがたに<sup>い</sup>言いま

す。<sup>じぶん</sup>自分の<sup>てき</sup>敵を<sup>あい</sup>愛し、<sup>じぶん</sup>自分を<sup>はくがい</sup>迫害する

<sup>もの</sup>もの<sup>いの</sup>者のために祈りなさい。

マタイ 5 : 44

## 4 (木)

しかし主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は弱さのうちに完全に現れるからである」と言われました。ですから私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。ですから私は、キリストのゆえに、弱さ、侮辱、苦悩、迫害、困難を喜んでいます。というのは、私が弱いときにこそ、私は強いからです。

Ⅱコリント 12：9－10

## 5 (金)

しんこう そうししゃ かんせいしゃ  
信仰の創始者であり完成者であるイエスから、

め はな かた じぶん  
目を離さないでいなさい。この方は、ご自分の

まえ お よろこ はずかし  
前に置かれた喜びのために、辱めをものと

じゅうじか しの かみ みざ みぎ ちやくざ  
もせずに十字架を忍び、神の御座の右に着座

されたのです。

へブル 12 : 2

## 6 (土)

<sup>わたし</sup>私<sup>い</sup>たちは、<sup>い</sup>生きるとすれば<sup>しゅ</sup>主<sup>い</sup>のために<sup>い</sup>生  
き、<sup>し</sup>死ぬるとすれば<sup>しゅ</sup>主<sup>し</sup>のために<sup>し</sup>死にます。で  
すから、<sup>い</sup>生きるにしても、<sup>し</sup>死ぬにしても、  
<sup>わたし</sup>私<sup>しゅ</sup>たちは<sup>い</sup>主<sup>しゅ</sup>のものです。

ローマ 14 : 8



## 7 (日)

かみ あい ひと  
神を愛する人たち、すなわち、かみ けいかく  
神のご計画にした  
がって召めされた人ひとたちのためには、すべてのことが  
ともに 働はたらいて益えきとなることを、わたし たちは知しって  
います。

ローマ 8 : 28

## 8 (月)

14  
日のおはなしは・・・ピリポの宣教せんきょう

ち  
散らされた人たちは、みことばの福音ふくいん

をつた  
を伝えながらめぐりある  
歩いた。

しと  
使徒 8 : 4

## 9 (火)

しかし、<sup>わたし</sup>私<sup>じゅうじか</sup>たちは十字架につけられたキリストを<sup>の</sup>宣<sup>つた</sup>べ<sup>じん</sup>伝<sup>じん</sup>えます。ユダヤ人にとってはつまずき、<sup>いほうじん</sup>異邦人にとっては<sup>おろ</sup>愚かなことですが、ユダヤ人<sup>じん</sup>であつてもギリシア人<sup>じん</sup>であつても、<sup>め</sup>召<sup>もの</sup>された者たちにとっては、<sup>かみ</sup>神<sup>ちから</sup>の力、<sup>かみ</sup>神<sup>ちえ</sup>の知恵であるキリストです。

I コリント 1 : 23 - 24

## 10 (水)

「<sup>しゅ</sup>主の<sup>みな</sup>御名を<sup>よ</sup>呼び<sup>もと</sup>求める<sup>もの</sup>者は<sup>みな</sup>みな<sup>すく</sup>救われる」のです。

ローマ10：13

## 11 (木)

しかし、<sup>しん</sup>信じたことのない<sup>かた</sup>方を、どのようにして<sup>よ</sup>呼び<sup>もと</sup>求めるので  
しょうか。<sup>き</sup>聞いたことのない<sup>かた</sup>方を、どのようにして<sup>しん</sup>信じるのでし  
ょうか。<sup>の</sup>宣べ<sup>つた</sup>伝える<sup>ひと</sup>人がいなければ、どのようにして<sup>き</sup>聞くのでし  
ょうか。<sup>つか</sup>遣わされることがなければ、どのようにして<sup>の</sup>宣べ<sup>つた</sup>伝える  
のでしょうか。「なんと<sup>うつく</sup>美しいことか、<sup>よ</sup>良い<sup>し</sup>知らせを<sup>つた</sup>伝える<sup>ひと</sup>人  
たちの<sup>あし</sup>足は」と<sup>か</sup>書いてあるようにです。

ローマ10：14－15

## 12 (金)

むしろ <sup>わたし</sup>私たちは、<sup>かみ</sup>神に<sup>みと</sup>認められて<sup>ふくいん</sup>福音を<sup>ゆだ</sup>委ね  
られた<sup>もの</sup>者ですから、それにふさわしく、<sup>ひと</sup>人を<sup>よろこ</sup>喜  
ばせるのではなく、<sup>わたし</sup>私たちの<sup>こころ</sup>心をお<sup>しら</sup>調べにな  
る<sup>かみ</sup>神に<sup>よろこ</sup>喜んでいただく<sup>かた</sup>こうとして、<sup>かた</sup>語っているの  
です。

I テサロニケ 2 : 4

## 13 (土)

むしろ、<sup>こころ</sup>心<sup>なか</sup>の中でキリストを<sup>しゅ</sup>主とし、<sup>せい</sup>聖

なる<sup>かた</sup>方としなさい。あなたがたのうちにあ

る<sup>きぼう</sup>希望について<sup>せつめい</sup>説明を<sup>もと</sup>求める<sup>ひと</sup>人には、だれ

にでも、いつでも<sup>べんめい</sup>弁明できる<sup>ようい</sup>用意をしてい

なさい。

I ペテロ 3 : 15

## 14 (日)

また、<sup>わたし</sup>私のためにも、<sup>わたし</sup>私<sup>くち</sup>が<sup>ひら</sup>口を開くと

きに<sup>かた</sup>語るべきことばが<sup>あた</sup>与えられて、<sup>ふくいん</sup>福音の

<sup>おくぎ</sup>奥義を<sup>だいたん</sup>大胆に<sup>し</sup>知らせることができるよう

に、<sup>いの</sup>祈ってください。

エペソ 6 : 19



## 15 (月)

21

日のおはなしは・・・ピリポの宣教せんきょう

ですから、だれでもキリストのうちにあ  
るなら、その人は <sup>ひと</sup> <sup>あた</sup> <sup>ら</sup> <sup>つく</sup> <sup>もの</sup> 新しく造られた者で  
す。 <sup>ふる</sup> 古いものは <sup>す</sup> <sup>き</sup> 過ぎ去って、 <sup>み</sup> 見よ、すべ  
てが <sup>あた</sup> <sup>ら</sup> 新しくなりました。

Ⅱコリント5：17

## 16 (火)

かれ ち たお じぶん かた こえ き  
彼は地に倒れて、自分に語りかける声を聞  
いた。「サウロ、サウロ、なぜわたしを<sup>はくがい</sup>迫害  
するのか。」

かれ しゅ  
彼が「主よ、あなたはどなたですか」と言う  
と、<sup>こた</sup>答えがあった。「わたしは、あなたが  
<sup>はくがい</sup>迫害しているイエスである。

しと  
使徒 9 : 4 - 5

## 17 (水)

しかし、主<sup>しゅ</sup>はアナニアに<sup>い</sup>言われた。「行<sup>い</sup>

きなさい。あの人<sup>ひと</sup>はわたしの<sup>な</sup>名を、

異邦人<sup>いほうじん</sup>、王<sup>おう</sup>たち、イスラエルの<sup>こ</sup>子らの<sup>まえ</sup>前

に<sup>はこ</sup>運ぶ、わたしの<sup>えら</sup>選<sup>うつわ</sup>びの器<sup>うつわ</sup>です。

使徒<sup>しと</sup>9 : 15

## 18 (木)

しょくじ げんき すうじつ  
食 事 を して 元 気 に な っ た 。 サ ウ ロ は 数 日 の

あいだ でし  
間 、 ダ マ ス コ の 弟 子 た ち と と も に い て 、 た

しょかいどう かた かみ こ  
だ ち に 諸 会 堂 で 、 「 こ の 方 こ そ 神 の 子 で

の つた はじ  
す 」 と イ エ ス の こ と を 宣 べ 伝 え 始 め た 。

し と  
使 徒 9 : 19 - 20

## 19 (金)

イエスは答<sup>こた</sup>えられた。「まことに、まこと  
に、あなたに<sup>い</sup>言います。人<sup>ひと</sup>は、<sup>あた</sup>ら<sup>う</sup>新しく生  
まれなければ、<sup>かみ</sup>神<sup>くに</sup>の<sup>み</sup>国<sup>み</sup>を見ることはできま  
せん。」

ヨハネ 3 : 3

## 20 (土)

たが 互いに 偽りを言っいてはいけません。あなたがた  
は古ふるい人ひとをその行おこないとともぬすに脱ぎ捨あたらてて、新  
しい人ひとをき着たのです。新あたらしい人ひとは、それを造つく  
られた方かたのかたあたらちつづにしたがって新あたらしくされ続  
け、真しんの知ち識しきにいたります。

コロサイ 3 : 9 - 10

## 21 (日)

あなたがたは以前は闇いぜん やみでしたが、今は、主いま しゅ  
にあって光ひかりとなりました。光ひかりの子どもと  
して歩あゆみなさい。

エペソ 5 : 8

## 22 (月)

28

日のおはなしは・・・ペテロが見た  
幻まぼろし

かみ 神は、イスラエルの子こらにみことばおくを送

り、イエス・キリストによって平和へいわの福音ふくいん

のの宣つたべ伝えられました。このイエス・キリ

ストはすべての人ひとの主しゅです。

しと  
使徒 10 : 36



## 23 (火)

かみ  
神は、イスラエルの<sup>こ</sup>子らにみことばを<sup>おく</sup>送り、イエス・キリストによって<sup>へいわ</sup>平和の  
ふくいん の <sup>つた</sup>福音を宣べ伝えられました。このイエ  
ス・キリストはすべての<sup>ひと</sup>人の<sup>しゅ</sup>主です。

<sup>し</sup>と  
使徒 10 : 36

## 24 (水)

ユダヤ人<sup>じん</sup>とギリシア人<sup>じん くべつ</sup>の区別はありませ

ん。同じ主<sup>おな しゅ</sup>がすべての人<sup>ひと しゅ</sup>の主であり、

ご自分<sup>じぶん</sup>を呼び求め<sup>よ もと</sup>るすべての人<sup>ひと</sup>に豊か<sup>ゆた</sup>

に恵み<sup>めぐ</sup>をお与え<sup>あた</sup>になるからです。

ローマ10：12

## 25 (木)

<sup>かみ</sup>神は、すべての<sup>ひと</sup>人が<sup>すく</sup>救われて、<sup>しんり</sup>真理を

<sup>し</sup>知るようになることを<sup>のぞ</sup>望んでおられま

す。

I テモテ 2 : 4

## 26 (金)

わたし ふくいん はじ  
私は福音を恥としません。福音は、  
ユダヤ人<sup>じん</sup>をはじめギリシア人<sup>じん</sup>にも、信<sup>しん</sup>  
じるすべての人<sup>ひと</sup>に救<sup>すく</sup>いをもたらす神<sup>かみ</sup>の  
ちから  
力<sup>ちから</sup>です。

ローマ1：16

## 27 (土)

よげんしゃ  
預言者たちもみなイエスについて、この方<sup>かた</sup>

を<sup>しん</sup>信じる<sup>もの</sup>者はだれでも、その<sup>な</sup>名によって<sup>つみ</sup>罪

の<sup>ゆる</sup>赦しが<sup>う</sup>受けられると、<sup>あか</sup>証ししています。」

しと  
使徒 10 : 43

## 28 (日)

こういうわけで、<sup>わたし</sup> 私たちもまた、<sup>た</sup>絶えず<sup>かみ</sup>神に  
<sup>かんしゃ</sup>感謝しています。あなたがたが、<sup>わたし</sup> 私たちから<sup>き</sup>聞  
<sup>かみ</sup>いた<sup>う</sup>神のことばを<sup>う</sup>受けたとき、それを<sup>にんげん</sup>人間のこ  
とばとしてではなく、<sup>じじつ</sup>事実そのとおり<sup>かみ</sup>神のことば  
として<sup>う</sup>受け入れてくれたからです。この<sup>かみ</sup>神のこと  
ばは、<sup>しん</sup>信じているあなたがたのうちに<sup>はたら</sup>働いてい  
ます。

I テサロニケ 2 : 13

## 29 (月)

4日のおはなしは・

第1回伝道旅行

主<sup>しゅ</sup>が私<sup>わたし</sup>たちに、こう命<sup>めい</sup>じておられるから

です。『わたしはあなたを異邦人<sup>いほうじん</sup>の光<sup>ひかり</sup>と

し、地<sup>ち</sup>の果<sup>は</sup>てにまで救<sup>すく</sup>いをもたらす者<sup>もの</sup>とする。』

使徒<sup>しと</sup>13:47

### 30 (火)

かれ み 彼を見つけて、アンテオキアに連れて来

た。かれ 彼らは、まる いちねん あいだきょうかい つど 一年の間 教会に集

い、おおぜい ひと おし 大勢の人たちを教えた。でし 弟子たちは、

アンテオキアで はじ 始めて、キリスト者 と呼

ばれるようになった。

しと 使徒 11 : 26



### 31 (水)

かれ しゅ れいはい だんじき  
彼らが主を礼拝し、断食していると、

せいれい  
聖霊が「さあ、わたしのためにバルナバ

とサウロを<sup>せいべつ</sup>聖別して、わたしが<sup>め</sup>召した

はたら っ い  
働きに就かせなさい」と言われた。

しと  
使徒 13 : 2